

# 総供養会 家族そろって 三月二十一日(日) おでかけください

本年も春のお彼岸の中日に当たる三月二十一日(日) 福日、「常楽寺」護持会との総会と、「先祖様の総供養法要を、午前十時から開催いたします。」家族揃って、「先祖の総供養法要」にお出かけください。

さて、常楽寺では昨年の秋、檀信徒の皆様のご協力によって、立派な山門が完成しました。この山門を入ると、左側に福德の神、大黒天、恵比寿、毘沙門天・弁財天・福祿寿・寿老人・布袋の七福神の仏たちが皆さんを迎えてくれます。

大黒天は、「大黒さま」としてよく知られていますが、厳密に言えば「大黒天神」と言う神様なのですが、弁財天と同じように仏教の守護神としての役割を担っている神さまです。大きな袋を肩に担いだ姿は、まるでサンタクロースの東洋版といったところでしょうか。何でも愛みどりにお出せる打出の

小僧を持っています。  
大黒さんは、インドの神様で破壊する力と共に、すべての善を救う力の両方を持った自在天の化身だとされています。

また、お正月になると、縁起ものの宝船に乗った七福神様が飾られて、首から福を招くとされていますが、「弁天さま」は、七福神の中のただ一人の女性であるため、美人の代表のようにも言われ、その上、財福や寿命、知恵を与えてくださる仏としても、信仰を集めています。

この七体の石仏は、以前ある方から寺に寄進されていたのですが、なかなか前庭ところが定まらず、長いあいだ造園さんに保管していただいたもので、この度、山門が立派に完成し、その記念碑などを配置した造園工事を進めるのにあたって、七福神様が日の目を見る事になったのです。

## 本山参拝旅行

参加しませんが

本年は、奈良平城京遷都千三百年といつて、奈良の都では、この四月から色々な「平城遷都千三百年祭り」のイベントが計画されています。また、私達の「本山長谷寺を中心とした西園三十三観音霊場」特別「簡便行事」が三年間に渡り進められ、本年五月が結願をむかえます。

この時を逃して、五月十八日(火)から二十日(木)の二泊三日、「本山長谷寺参拝旅行」を計画いたしました。

バス旅行ですが、初日は奈良の「聖生寺」から、「本山長谷寺」の参拝。二日目は、早朝の「本山長谷寺」参拝。そして、遷都千三百年

おでかけください!

水墨画  
川口隆善(善司) 遺墨展  
後援 上毛新聞社

と き 平成22年3月21日(日)～4月21日(水)  
「午前9時～午後5時迄」  
と ころ 太田市上田島町372 常楽寺境内  
「うささま明王堂」

長く県内農事事務所に勤務し、地域の農業振興に貢献し、職を置いてから趣味として取り組んだ、「水墨画」の学習が実を結んで「教授」の資格を獲得し「隆善」の雅号もいただき、多くのお弟子さんを育てて来られました。また、菩提寺の総代としても、「常楽寺」の発展に尽力されて来られたが、残念なことに、昨年十二月に逝去されました。

ここに、水墨画家・川口隆善氏をしのび、多くの方々に作品を観ていただきたいと「遺墨展」を企画いたしました。是非お出かけください。 常楽寺住職

祭の奈良市内見学と琵琶湖湖畔の雄勝温泉前泊。三日目は、琵琶湖に浮かぶ「竹生島の宝蔵寺」の寺は、「光明新香堂」参拝するコースです。詳しくは、別紙「本山長谷寺参拝旅行日程表」をご覧ください。費用は参加人員によって多少変動しますが、六万九千円からです。参加希望の方は、常楽寺が寺役員さんにお訪ください。

常楽寺  
たより  
平成22年  
3月18日